

第 2 期宮城県スポーツ推進計画に基づく取組状況について

1 令和 7 年度の主な実施事業について

①基本方針 1「スポーツによる健康増進」

(ア) みやぎスポーツ DAY (施策 1・2・3)

- ・実施主体 スポーツ振興課
- ・予算額 1,518 千円
- ・事業概要 全ての県民が「目的・好みに応じてスポーツを楽しめる」スポーツ機会を提供する。

【会場の様子(グランディ・21)】



卓球バレー



親子体操

(イ) プロスポーツチームとの連携によるスポーツ機会拡大事業 (施策 1)

- ・実施主体 スポーツ振興課
- ・予算額 13,609 千円
- ・委託先 (株) 楽天野球団、(株) ベガルタ仙台、(一社) 89ERS アカデミー
- ・事業概要 プロスポーツチームと連携して、ひとり親世帯等の子ども及び保護者等に向けスポーツに親しむ機会を提供する。



3 チーム合同スポーツ教室 (楽天モバイルパーク宮城)

②基本方針2「スポーツによるまちづくり」

(ウ) 総合型地域スポーツクラブ育成・支援（施策1）

- ・実施主体 宮城県スポーツ協会
- ・事業概要 「総合型地域スポーツクラブ」の普及に向けた取り組みを支援するため、市町村体育・スポーツ協会が企画運営する各種大会、研修会等に要する経費を助成するほか、クラブの設立・運営の助言を行う。

(エ) スポーツ人材等確保対策事業（施策1）

- ・実施主体 スポーツ振興課
- ・予算額 7,000 千円
- ・委託先 (株) スポーツフィールド
- ・事業概要 県内での就職を希望するアスリートや指導者と雇用したい企業にマッチングの機会を提供し、アスリート達の県内企業への就職・定着と地域スポーツへの貢献を促進する。



企業説明会



座談会

(オ) 全日本実業団対抗女子駅伝競走大会開催支援事業（施策2）

- ・実施主体 スポーツ振興課
- ・予算額 5,021 千円
- ・主催 日本実業団陸上競技連合
- ・事業概要 実業団女子日本一を決定する大会の円滑な運営支援や大会の盛り上げのための側面支援を行う。



クイーンズ駅伝（スタート前）



表彰式

③基本方針 3「スポーツによる共生社会の実現」

(カ)障害スポーツ・レクリエーション事業(各種障害者スポーツ大会の開催)(施策 1)

- ・実施主体 障害福祉課
- ・予算額 5,271 千円
- ・事業概要 障害者の特性に応じたスポーツ技術やルール、心構え等の講習・実技を通じ、スポーツに親しむ機会を提供する（宮城県・仙台市障害者スポーツ大会の開催等）



ボッチャ競技大会



アーチェリー競技大会

【参考】「障害者のためのスポーツ施設利用受入マニュアル（仮）」の策定

- ・実施主体 スポーツ振興課
- ・予算額 271 千円
- ・事業概要 障害者が利用するスポーツ施設向けに配慮事項をまとめたマニュアルを作成する。令和 7 年度は県内 2 つの体育施設を対象に実地調査を実施している。



入口に靴を履き替えるための椅子や補装具を拭くための布巾を設置



会議室などの出入口の幅を確認

④基本方針4「スポーツによる感動の創出と誇りの醸成」

(キ) 事業名 スポーツ選手強化対策事業（施策1）

- ・事業主体 スポーツ振興課
- ・予算額 136,540 千円
- ・事業概要 スポーツ振興と競技力及びスポーツ水準の向上を図るため、宮城県スポーツ協会と連携し、競技団体の強化事業に対する支援やジュニア選手の育成等を行う。

【令和7年度ジュニアトップアスリートアカデミー】



育成プログラム「体力測定会」



競技体験プログラム「ボクシング」

(ク) 東北総合スポーツ大会参加等事業（施策1）

- ・実施主体 スポーツ振興課
- ・予算額 64,944 千円
- ・事業概要 東北総合スポーツ大会への参加経費を補助するとともに、開催県として各競技大会の開催を支援する。



ソフトテニス（入場行進）



カヌー（スプリント）

(ケ) オリンピック・パラリンピック競技大会レガシー継承事業（施策 1・3）

- ・実施主体 スポーツ振興課
- ・予算額 7,638 千円
- ・事業概要 「復興五輪」として位置づけられた東京 2020 大会を契機として、オリ・パラアスリートとの交流機会を提供し、スポーツを通じた県民の健康増進及び多文化共生社会の成熟を図る。



張本智和 選手（卓球）



鈴木里佳 選手（ブラインドサッカー）

2 目標指標及び達成状況について

資料 5 のとおり